

東証プライム・名証プレミア

証券コード：2453

困っている人を
助ける。 WE HELP
PEOPLE IN NEED.

JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

JBR

JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

決算説明資料

< FY2022/Q3 >

ジャパンベストレスキューシステム株式会社

2022年8月5日

内容	ページ
決算概況	1 - 4
主要指標	5 - 8
トピックス	9 - 11
よくあるご質問	12
データ集	13 - 15

YouTube 説明動画
公開予定
[JBR Best IR Channel](#)



売上高・営業利益は予算通りに進捗、過去最高を継続更新

来期以降の運営最適化に向けた費用を計上

	FY20/Q3	21/Q3	22/Q3	前期比	通期予想 進捗率
売上高	9,023	10,222	13,377	+3,155 +30.9%	過去最高 74.3%
ACTG*買収の効果に加え、既存事業も安定的に成長					
営業利益 (売上比)	1,048 (11.6%)	1,124 (11.0%)	1,174 (8.8%)	+49 +4.4%	過去最高 67.9%
ACTGIはQ3時点で通期予想を達成					
経常利益	1,103	1,307	899	-407	自社株価予約取引を解約 47.4%
来期以降、市況から受ける業績影響は最小化					
親会社株主に帰属する 四半期純利益	510	877	373	-503	合併によって生じる二重投資を回避 31.2%
ACTGのシステム開発を中断、JBRに統一					
EBITDA (売上比)	1,201 (13.3%)	1,303 (12.8%)	1,612 (12.1%)	+309 +23.7%	過去最高 -
収益力が継続的に向上					

*アクトコール社・TSUNAGU社

主力事業の実力を示す実態利益は継続的に成長

実態利益 = 営業利益(開示値) - ① 特殊要因 + ② 配賦負担

会員セグメント

< 特殊要因 > 事業再編によるセグメント負担増加

	FY20/Q3	21/Q3	22/Q3
実態利益	1,478	1,520	1,725
前期比	+5.5%	+2.9%	+13.5%

営業利益(開示値)	FY20/Q3	21/Q3	22/Q3
前期比	1,161	*1,262	728
	+5.6%	+8.7%	-42.3%

① 事業再編	-	361	439	31
② 配賦負担	+	678	697	1,028

*FY21/Q3決算開示における数値

① 事業再編	FY21-22の間で事業内容が変動 OUT >> 保証事業(JWS)、その他(感染拡大防止事業) IN << 旧ライフテック組織、リペア事業
--------	--

② 配賦負担	JBRでは全社横断的に生じる費用を、人員数等に応じて配賦 会員セグメントの全社に占める比率が上昇したため増加 また配賦費用の総額も、ERPの償却開始等により増加
--------	--

保険セグメント

< 特殊要因 > 保険金支払いに備える準備金の増減

	FY20/Q3	21/Q3	22/Q3
実態利益	282	330	465
前期比	+3.6%	+17.0%	+40.5%

営業利益(開示値)	FY20/Q3	21/Q3	22/Q3
前期比	303	295	341
	+28.6%	-2.6%	+15.5%

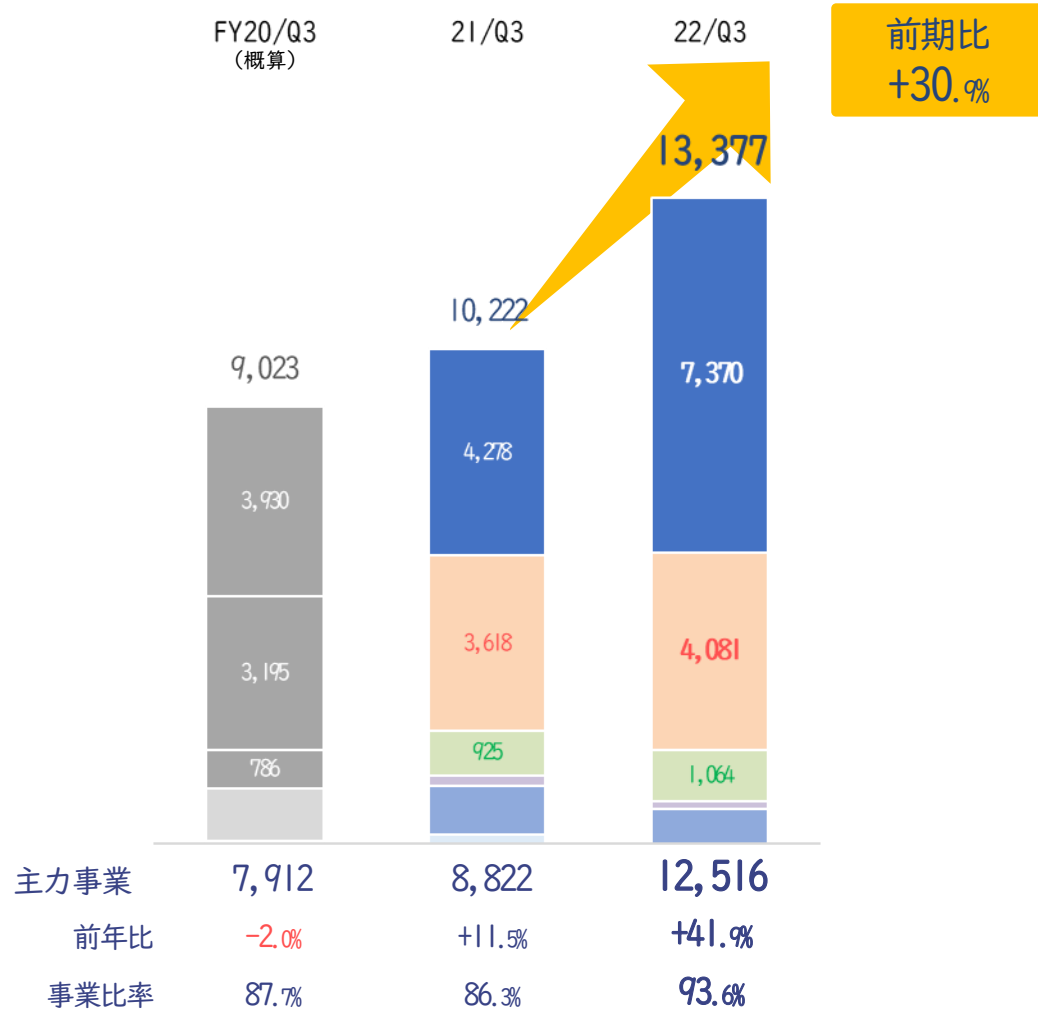
① 契約準備金	-	+26	-32	-119
② 配賦負担	+	5	2	3

① 契約準備金	保険業法に定められた会計処理に従って 毎四半期 プラス or マイナス影響が発生 原則として、契約獲得が… ・活発な時 >> マイナス影響 ・落ち着いた時 >> プラス影響
---------	--

② 配賦負担	保険事業はグループ会社で運営しており、負担は軽微
--------	--------------------------

ストック型の収益構造を持つ、主力事業群が力強く成長

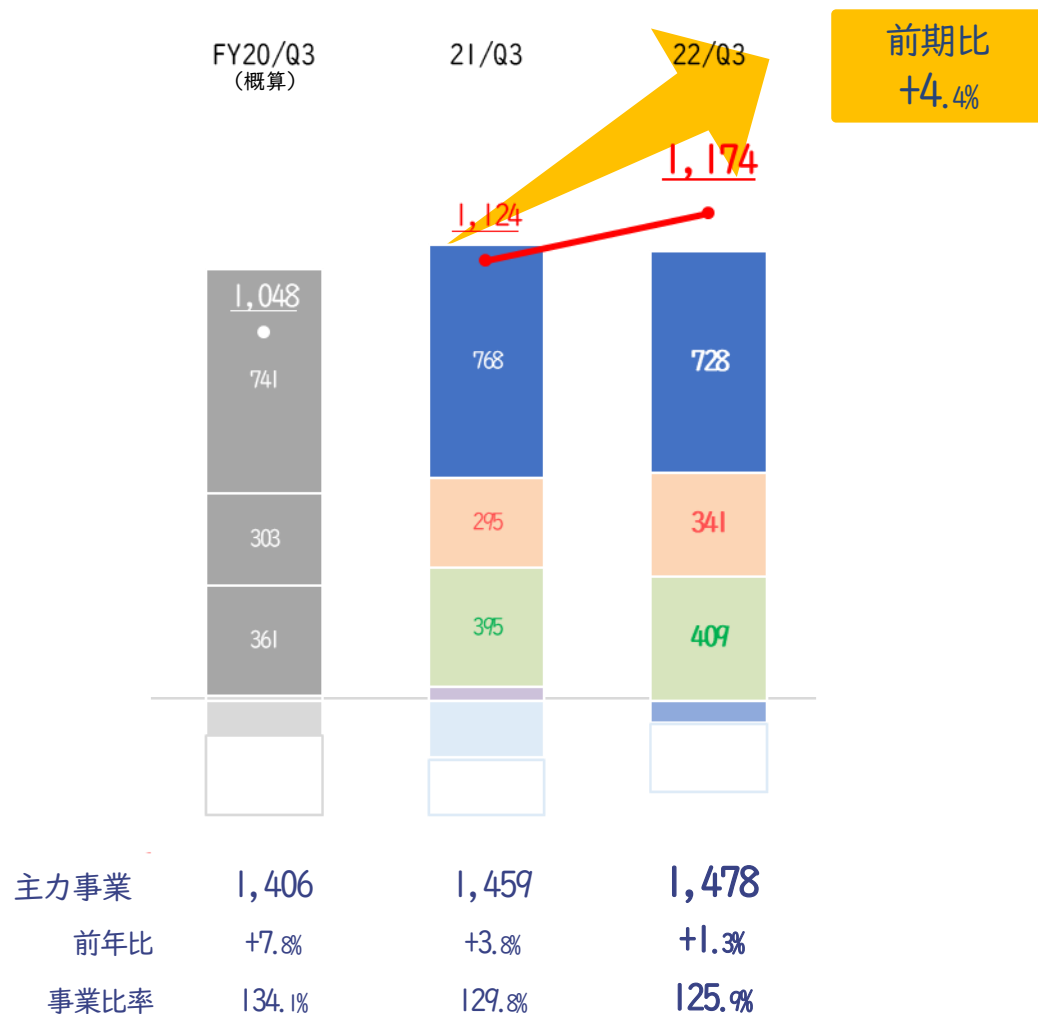
保険事業は季節性の減収(Q2→Q3)を上回る大幅増収を達成



項目	金額	前年比	説明
合計	+3,155	+30.9%	セグメント変更後も全社の成長を牽引
会員	+3,091	+72.3%	+ 278 会員の獲得による純増 +2,662 ACTG 前期末に競合を完全子会社化 + 150 新収益認識基準 通期でプラス影響が継続する
保険	+463	+12.8%	被保険者の獲得による純増
保証	+139	+15.0%	会員の獲得による純増
その他	-60		感染拡大防止事業 …FY21/下期~FY22/上期
駆けつけ	-307		出勤件数の減少による減収
ライフテック	-176		事業撤退に伴い、前期末にセグメント廃止
調整額	+6		

主力事業の実態利益が着実に成長、駆けつけ事業の低迷は底打ち

来期に向けてポートフォリオ再構築と不採算圧縮を進める



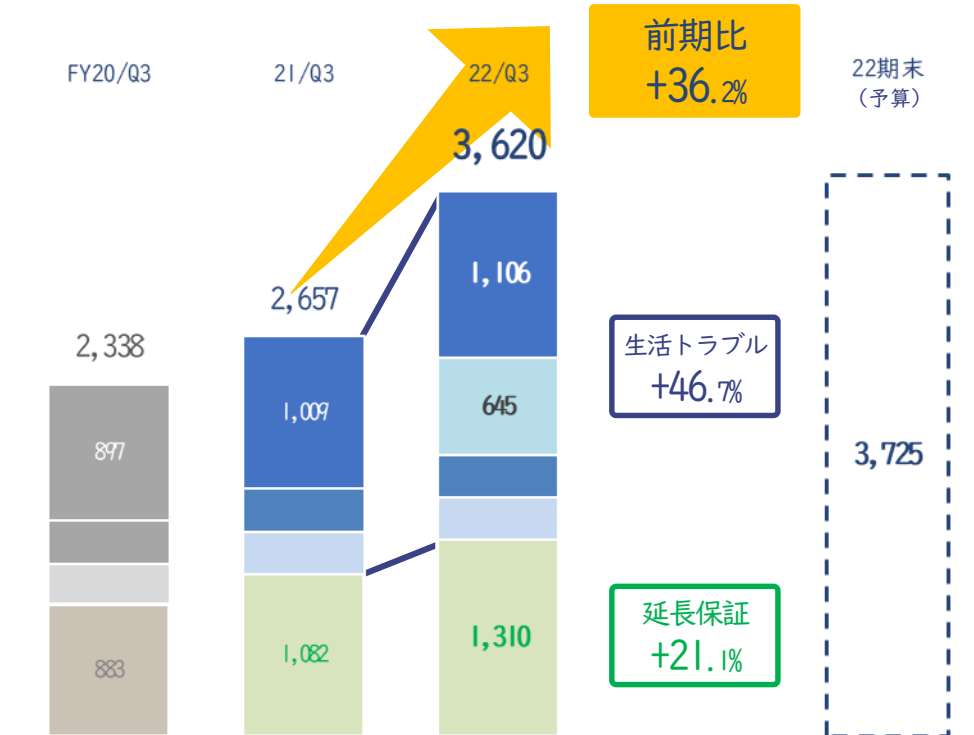
項目	前期比	増減	増減率	説明
会員	-40	-5.2%	-5.2%	+126 会員の獲得による実態利益の増加 -362 事業再編に伴う配賦負担等の増加
保険	+45	+15.5%	+15.5%	+196 ACTG 営業利益:334百万円 - のれん償却:138百万円 +133 被保険者の獲得による実態利益の増加 - 87 獲得ペース増加に伴い、準備金の繰入が増加 <FY21> -32百万円 → <FY22> -119百万円
保証	+13	+3.4%	+3.4%	会員の獲得による純増
その他	-45	-	-	感染拡大防止事業に続く、新規事業の開発推進
駆けつけ	-64	-	-	出勤件数の減少による減益
ライフテック	+186	-	-	事業撤退に伴い、前期末にセグメント廃止
調整額	-45	-	-	

ACTG買収の効果も合わせて、会員数は前年比:+36%

収入の増加:61%に対して、出動費の増加:43%に留まり収益性が向上

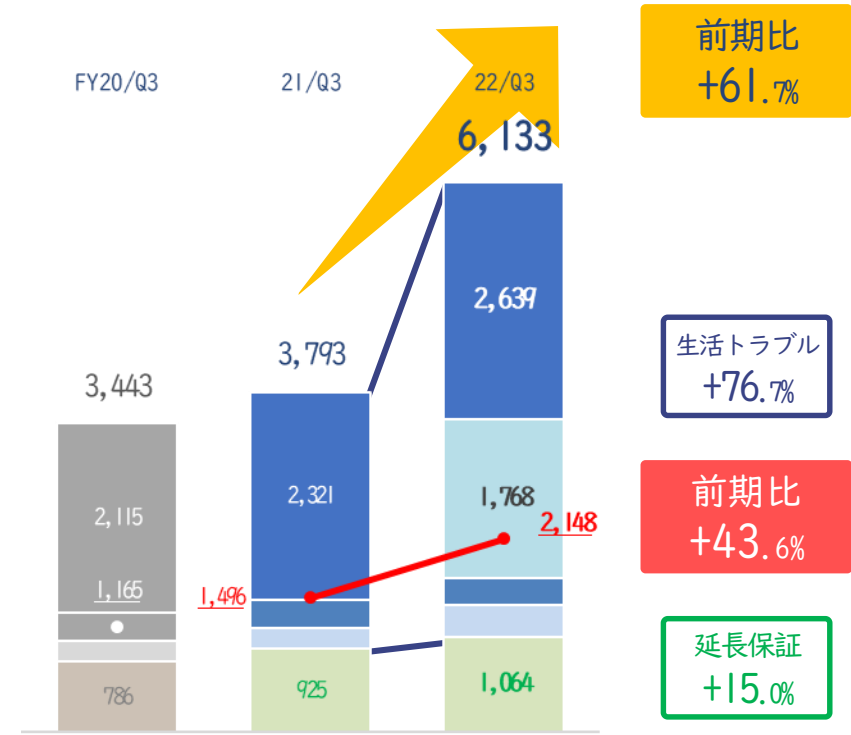
会員数(千人)

既存事業も会員獲得ペース加速



会費収入・出動費(百万円)

出動費用の増加を適切にコントロール



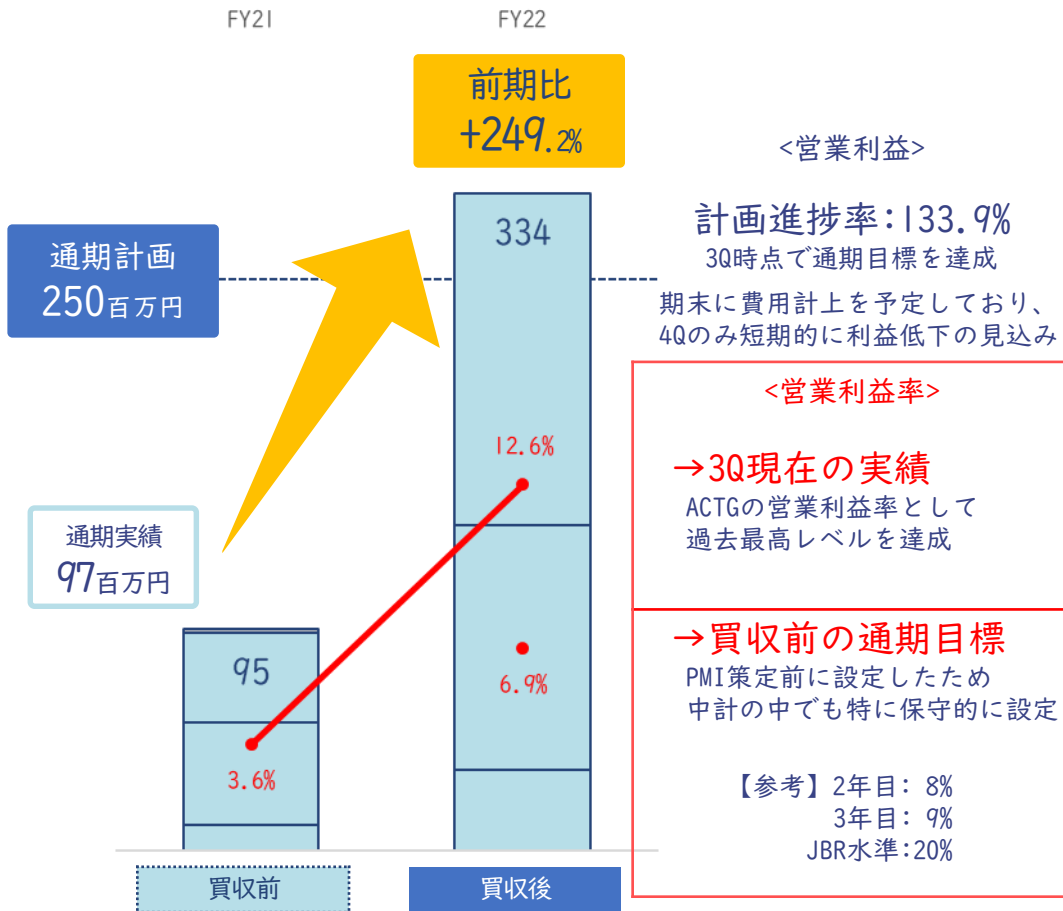
< 凡例 >



通期での計画達成はほぼ確定

3年後の目標水準(営業利益率:9.0%)も大幅に上回る

営業利益・利益率(百万円)



収益改善の取り組み

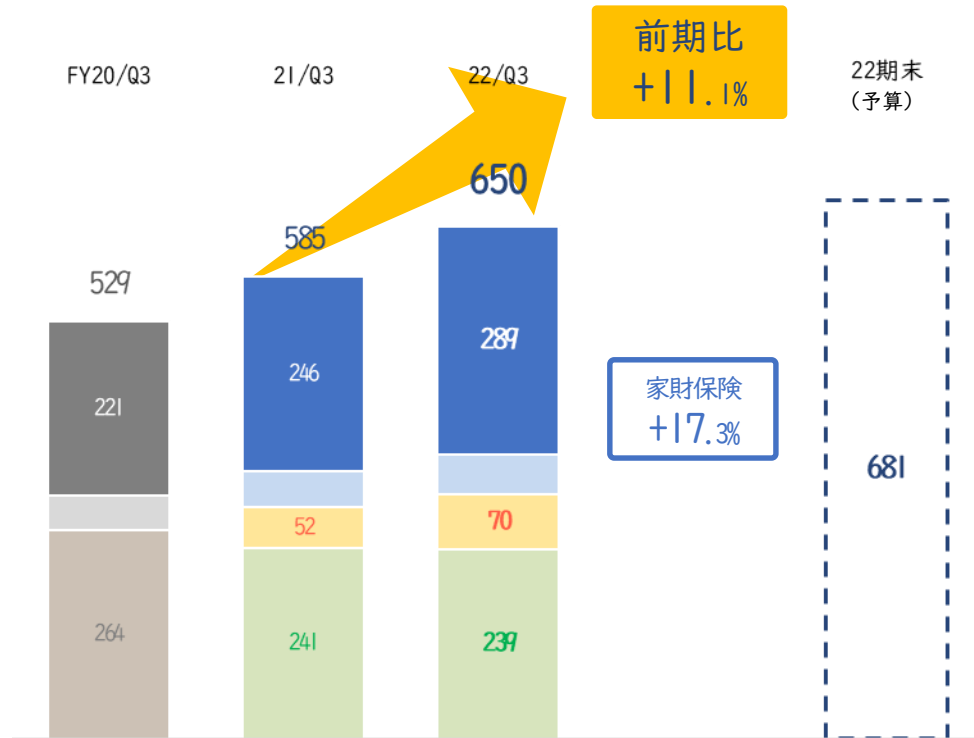
取り組み	効果
JBRグループ	
吸収合併	大
10/1の効力発生日に向けて、組織最適化など進捗中	
グループ全体の収益性改善	大
営業・管理・コールセンター業務の効率化 システム統合等の検討を進める	
コールセンター	
業務効率化	大
販売パートナー	
不採算案件の是正交渉	大
施工パートナー	
作業原価の是正交渉	中
管理部門	
外部委託業務の取り込み	小

他社からの流入開始により、家財保険 販売パートナー数* 大幅増

前期比:+40%超を記録 <参考> FY20→FY21:+13% *一般的な保険業態における販売代理店数に相当

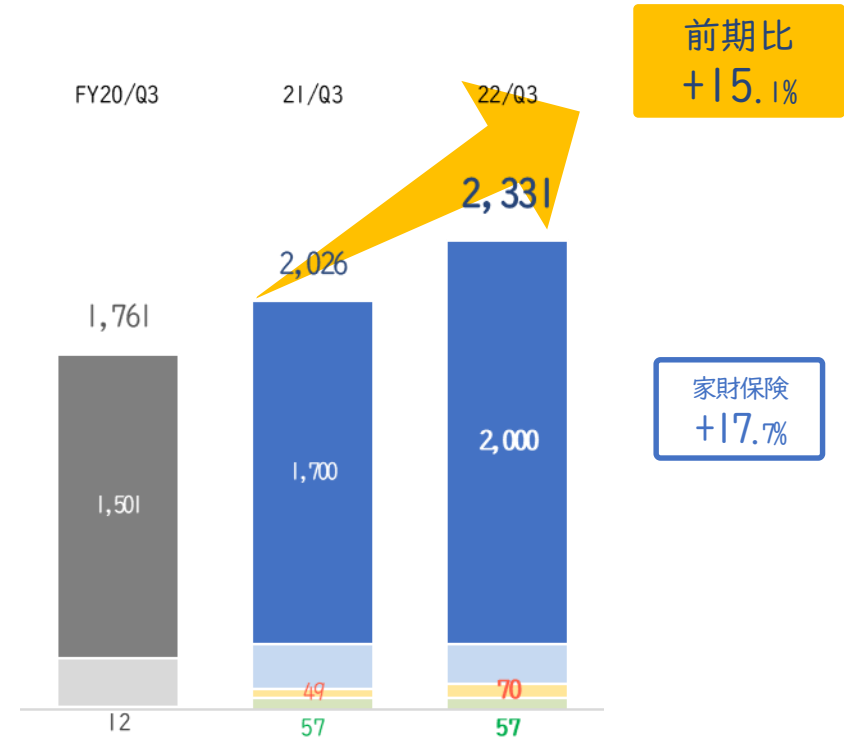
被保険者数(千人)

今後1年間で家財保険は大幅増の見込み



保険料収入(百万円)

収入増は家財保険の獲得ペースに連動



< 凡例 >



420万件超の安心を提供し、地方創生に貢献するシステム

東京・甲子園に続きキッザニア福岡でも、9/1より株主優待券をご利用いただけます

We create the Best Rescue System
いつも暮らしに寄り添い、
安心できるベストな仕組みやサービスを創る

サービス例



Mission

困っている人を助ける

Vision

Value

正しくあれ : お客さま、仲間、自分に誠実に
優しくあれ : 相手を敬い、おごらず、謙虚に
挑戦者であれ : 失敗を恐れず、前に進むことを大切に

サービス契約数

4,271千件
(FY22/Q3末)



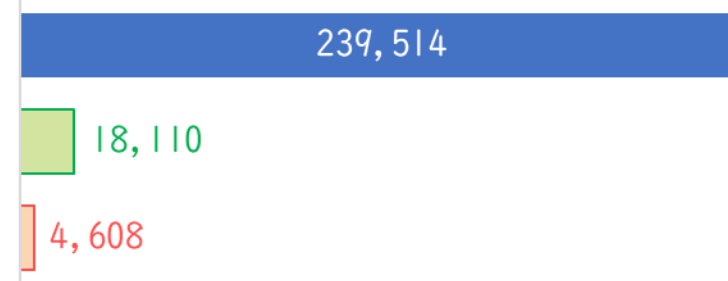
困っていた人

262,232件
(FY22/Q3末)

生活トラブル

延長保証

保険



来期以降の収益最大化を狙い、今期中に資産の除却などを進める

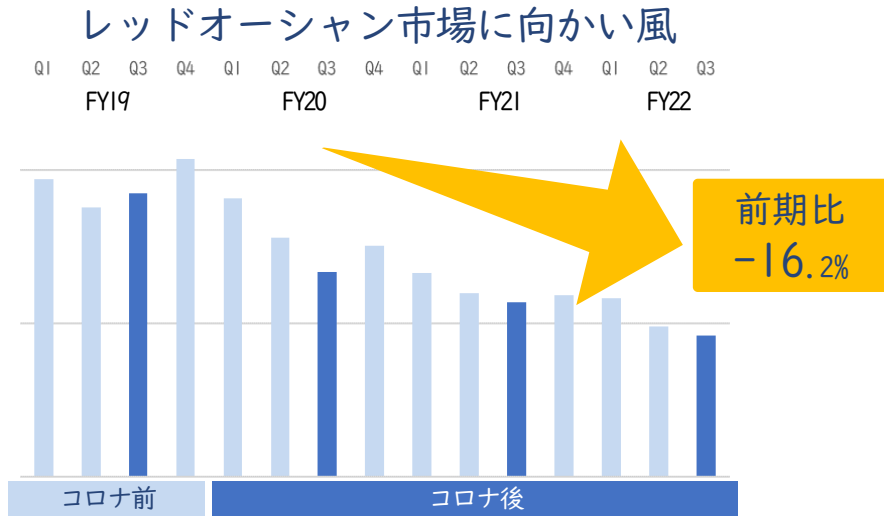
ACTG合併に伴う特別損失を計上、駆けつけ事業の黒字復帰は先送り

	当初予想	修正予想	差異	主な内容
売上高	18,000	18,000	±0	駆けつけ不調を保険が挽回する傾向が通期継続する見込み
営業利益 (売上比)	1,730 (9.6%)	1,420 (7.9%)	-310	-260 出動件数が減少を続け、駆けつけ事業の黒字復帰を先送り -50 保険獲得の活発化により、Q4:契約準備金を積み増し
経常利益	1,900	1,180	-720	-310 営業利益 -240 自社株価予約取引を解約、今期中に影響は全て解消の見込み -170 ポートフォリオ変革に係るコスト (JWS上場費用、持分法適用会社)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,200	430	-770	-720 経常利益 -170 将来に向けた資産最適化 (ACTGシステム統合、大阪拠点廃止) +120 利益圧縮に伴う税負担の軽減等

来期以降の経営計画・業績予想は再考中

ここまでの変化点を踏まえて、将来への飛躍に繋げていく

駆けつけ事業



コロナ禍を発端とした出動件数の減少が継続

「暮らしのレスキューサービス」に対する注意喚起も相次ぎ
一般顧客のマインドは、冷え込んだままと予想される

会員化需要を喚起するチャンスともなり
右記の変化点と共に今後の運営を協議中

その他の変化点

自ら創出した変化も合わせて複数発生

セグメント	内容
会員	PMI順調なACTGが早々に業績貢献、期末に合併 また駆けつけ不振の一方で、入電数は増加傾向
保証	海外展開を見据えた株式の上場を実現
保険	家財保険の新規流入が一気に加速
その他	JAFや伊藤忠商事との提携実現 パートナー網を活用するラストワンマイル事業 伊藤忠との新規事業を、近日中に発表予定

伊藤忠案件のサービスインを相次ぎ予定

ストック型に囚われない幅広いサービス構築を準備中

新規提携

時期	提携先・業界	サービス	規模
済	JAF	生活トラブル	2,000万人
	ワタミ	生活トラブル	19万人
近日	伊藤忠①	生活トラブル	※
	伊藤忠②	ラストワンマイル	※
	警備	生活トラブル	※

JAFのホームライフサポート

6月末時点: 644件

4月上旬のサービス開始以来、順調に会員増加中
JAF会員に対するメルマガを通じた会員獲得を推進

来期には本格的な獲得スキームを構築
(自動車販売時や、全国イベント等の豊富なタッチポイント活用)

展開方針

サービス	方針
生活 トラブル	持ち家市場に向けた展開を加速 リペア付帯型サービスも強化
延長保証	住宅・設備メーカーへの営業注力 商流の川上を抑えた効率的な拡販を追求
保険	提携関係を活かした新商品開発 伊藤忠・ミニミニ等の大口販路も開拓
ラスト ワンマイル	既存インフラを活用した新サービス開発 食品宅配バックアップ、飲食店見回り、 高齢者見守り、自転車アフターサービス等

<< 当社と提携をご検討中の法人さま >>

当社では幅広い業種・業界との提携を実現しております
お気軽に下記アドレスまで、お問い合わせください

info@jbr.co.jp

1. ここまでの業績はどうですか？

売上高・営業利益は、Q3まで計画通り推移してきましたが、今期の業績予想は修正し、来期以降の業績予想を策定中です。

2. 新収益認識基準とは？

国際会計基準(IFRS)の一部が、今期より強制適用されました。業績予想には織込済であり、長期的な影響はございません。

3. M&A後のPMIの状況は？

当初の想定を上回り、3Q時点で営業利益の通期目標を達成しました。改善をさらに進めるべく、10月よりACTGを吸収合併します。

4. ライフテック(新電力)撤退の影響は？

世界的な電力需給リスクの早期回避に繋がりました。通期では1.5億円程度の利益貢献を見込んでおります。

5. 伊藤忠との今後の取り組みは？

伊藤忠グループ各社と、20件余りの協議が進んでおります。11ページ(新規案件)ご案内の通り、順次リリースを予定しています。

6. コロナ第7波による事業影響は？

現時点で当社事業に対する影響は、確認されておりません。感染拡大防止事業の新規受注は、8/5時点ではございません。

7. ウクライナ情勢による事業影響は？

現時点で当社事業に対する影響は、確認されておりません。また当社では避難民に対する支援を3/7に表明しております。

8. 会社説明の資料は？

内容を充実させるため、別途ご用意しております。最新版の公開まで、しばらくお待ちください。

https://www.jbr.co.jp/ir_info/irlibrary_account/

9. 決算説明会の予定は？

次回、通期決算の説明会は、11月中旬に開催予定です。

10. 不明点の問い合わせは？

最終ページに記載の連絡先までお寄せください。

主力事業のサービス契約数と共に継続的に事業成長

(千件)	FY18				FY19				FY20				FY21				FY22		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
サービス契約数	2,506	2,575	2,521	2,522	2,531	2,583	2,428	2,482	2,508	2,605	2,867	2,950	3,049	3,176	3,243	3,940	4,005	4,175	4,271
(百万円)																			
売上高	2,795	3,112	2,957	2,901	2,945	3,166	3,074	2,824	2,871	3,124	3,027	3,033	3,156	3,481	3,584	3,238	4,330	4,476	4,570
営業利益	267	383	345	433	352	386	385	513	307	343	398	318	375	296	452	283	403	334	436
経常利益	347	382	475	438	396	481	374	714	323	342	437	695	432	382	492	433	369	326	203
純利益	281	282	335	292	257	754	105	521	143	116	250	487	302	238	335	-820	317	201	-144
EBITDA	308	423	385	472	395	429	428	559	352	391	456	378	430	354	518	349	546	478	587
(百万円)																			
総資産	13,281	13,556	14,243	14,865	14,728	14,865	17,599	18,761	19,075	19,518	20,146	21,204	21,494	22,249	22,903	28,175	27,694	28,276	29,080
負債	7,846	7,946	8,357	8,823	8,703	10,549	9,905	10,657	10,810	12,964	12,835	13,296	13,551	13,954	14,546	16,507	16,763	17,445	18,165
前受収益 計	4,704	5,019	5,381	5,661	5,803	6,095	6,332	6,710	6,807	6,985	7,442	7,640	7,806	8,054	8,616	9,266	9,843	9,992	10,548
前受収益	1,347	1,494	1,594	1,658	1,655	1,751	1,770	1,824	1,815	1,846	1,976	1,982	1,982	2,034	2,173	2,698	3,048	3,089	3,121
長期前受収益	3,356	3,525	3,786	4,003	4,148	4,343	4,561	4,885	4,992	5,138	5,465	5,657	5,823	6,019	6,443	6,567	6,794	6,903	7,426
純資産	5,430	5,609	5,885	6,042	6,024	6,926	7,693	8,104	8,265	6,553	7,310	7,907	7,942	8,295	8,357	11,668	10,930	10,831	10,914
自己資本比率	40.9%	41.4%	41.3%	40.6%	40.8%	39.5%	42.5%	42.1%	41.7%	32.0%	34.7%	35.8%	35.5%	35.8%	35.0%	40.2%	38.2%	36.5%	34.4%

将来の売上に当たる前受収益の合計は、ついに100億円を突破

不採算案件の整理等を経て、高成長フェーズに突入

(千件)	FY18				FY19				FY20				FY21				FY22		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
会員数	2,233	2,305	2,247	2,247	2,259	2,310	2,168	2,222	2,245	2,347	2,338	2,399	2,492	2,601	2,657	3,347	3,411	3,569	3,620
生活トラブル	1,755	1,786	1,699	1,664	1,636	1,646	1,464	1,464	1,441	1,500	1,454	1,465	1,506	1,565	1,575	2,214	2,226	2,330	2,310
集合住宅	811	840	822	830	840	865	854	870	864	909	897	913	930	964	1,009	1,020	1,038	1,100	1,106
ACTG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	630	624	640	645
大学生	252	286	271	273	273	300	285	286	286	314	289	290	290	318	288	288	288	316	282
dリビング	251	241	214	189	166	145	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	439	417	391	371	356	335	323	308	290	275	267	261	285	282	277	275	275	272	276
延長保証	477	519	547	583	622	663	704	758	804	846	883	934	986	1,036	1,082	1,132	1,185	1,239	1,310
(百万円)																			
会費収入	988	1,130	1,156	1,081	1,109	1,214	1,215	1,108	1,088	1,184	1,169	1,146	1,188	1,280	1,324	1,296	1,997	2,034	2,100
生活トラブル	819	948	965	884	893	987	985	857	832	919	904	874	887	972	1,008	969	1,652	1,680	1,736
集合住宅	506	631	660	601	626	729	729	669	652	735	727	696	706	786	828	790	847	874	917
ACTG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	581	586	600
大学生	91	96	96	97	97	101	100	101	100	104	100	102	103	108	102	102	103	105	102
dリビング	112	111	101	89	78	68	66	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	109	109	105	96	90	87	88	85	80	79	76	76	77	78	77	76	120	113	115
延長保証	168	182	191	197	215	226	230	250	255	265	265	271	300	308	315	326	345	354	364
出動費	538	498	532	554	573	520	536	397	392	396	376	443	488	519	489	524	701	734	712

国内トップレベルの商品開発力で、新商品を続々と投入

(件)	FY18				FY19				FY20				FY21				FY22		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
商品数*1	9	9	9	9	9	9	9	11	12	14	14	14	17	17	17	17	17	18	18
少額短期保険	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10	11	11	11	11	11	12	12
損害保険	-	-	-	-	-	-	-	2	3	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6
(千件)																			
被保険者数	272	269	274	274	272	272	259	259	262	258	529	550	556	574	585	593	593	606	650
家財保険	175	180	184	187	182	194	197	201	207	215	221	226	231	240	246	251	257	272	289
スポーツクラブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	264	264	246	242	241	240	228	222	239
スマホ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	34	46	52	55	60	63	70
その他	97	89	89	87	89	78	61	58	55	42	43	43	44	44	45	46	47	48	50
(百万円)																			
保険料収入	450	581	534	463	484	629	570	493	509	654	597	561	590	734	701	616	638	822	870
家財保険	345	484	419	366	389	533	471	404	422	574	504	465	490	630	579	502	527	713	759
スポーツクラブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	17	18	18	19	20	18	18	20
スマホ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	11	17	20	21	23	23	23
その他	104	97	115	96	94	96	99	89	86	80	81	73	70	67	81	72	69	66	66
契約準備金*2	-3	+35	-3	+1	+0	-8	-13	-127	+15	-18	+28	-38	+15	-7	-39	-52	-7	-38	-73

*1 各期末における普通保険約款の数

*2 保険業法に基づく会計処理により、各四半期の営業利益は増減しやすい

JBR

JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

注意事項

本資料で記述している業績予想や将来の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確定な要素が含まれています。そのため、実際の成果や業績等は記載の予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料・IR問い合わせ先：経営企画部 タケウチ シンヤ 竹内・新矢

TEL：052-212-9908 E-mail：ir@jbr.co.jp

UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、
より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。